



## 平成29年度より単位制普通科に！

## 2年次沖縄研修旅行

県立高校改革に伴い、昨日の12月14日に県教育委員会は「県立高校改革実施計画(I期案)」を発表しました。

本校は総合学科から単位制普通科に生まれ変わることとなりました。

9月の段階で合計Ⅲ期・12年間で全日制の総合学科11校から6校程度削減する計画が発表されていました。

卒業生の85%が進学することや地域的な総合学科へのニーズなどが考慮されての決定かと思っています。

単位制であることに変化はなく、中学校で学んできた「共通科目」を中心に、興味関心や進路希望に合わせた「自分の時間割」づくりの支援を継続して行うこととなります。

最初の普通科の入学生は平成29年4月です。総合学科生の学びを充実させつつ、新たな学校の開校に向けて準備をしたいと思います。

## 緑園総合の完成に向けて

在校生のみなさんとこれから2月に受検する中学生のみなさんにお話をしたいと思います。

このたび、上の記事で書いたように、総合学科高校から単位制の普通科高校になることとなりました。

総合学科のすばらしさは、普通科の共通科目と専門学科の科目の両方を学べることです。多くの選択科目があり、自分の興味関心に合わせて少人数でじっくりと学べることです。

多くの講座があれば、多くの先生が必要です。同じクラス規模の普通科高校に比べ、11人も多い先生が配置されています。ですから、各クラスに担任と副担任がつき、ほとんど二人の担任がいるのと同じ状態です。つまりお金のかかっている学校です。ぜいたくな学校です。

そして総合学科ならではの自由な学びを経験できます。校内の授業だけでなく、専門学校と連携した夏季講座、他の総合高校の講座への参加、資格取得、ボランティア、インターンシップなどなど、豊かな学びの場があります。

在校生のみなさんはその「ぜいたくな学び」をしっかりと味わってください。

そして、最後の緑園総合生となる、受検生のみなさん。たどりつく進路先、大学・短大・専門学校・就職等は同じであっても、自分の興味関心を最大限に生かせる総合学科での「ぜいたくな学び」を是非味わっていただきたいと思います。みなさんの後には同じ校地で学ぶ同じ単位制の後輩が続きます。

12月1日(火)から4日(金)の3泊4日で2年次の沖縄研修旅行が実施されました。

生徒一人ひとりが課題を決めて、事前学習をしてきたことを現地で確認や調査をし、帰ってきた今、原稿にまとめ最後は全員分を印刷し報告書として冊子にします。

また、沖縄は平和学習の場でもありません。ひめゆり平和祈念資料館や糸数壕を訪れました。戦争に対するさまざまな意見がある現在、生徒のみなさんも考えることが多かったのではないのでしょうか。

民家泊は2泊です。ご家庭の味を堪能し、土地の方のお話をたくさんうかがい、味わい深い時間を過ごしたようです。



今回の研修旅行のしおりに書いた「学校長のことは」から引用します。

「民家泊が緊張を感じながらも楽しみですね。緑園通信16号から、昨年度の研修旅行の記事を引用します。

『旅行が終わり、どういう様子だったか、いろいろな先生に聞いてみると、「民泊はとても良かったと生徒が言っています」さらに、「お礼の色紙を作成しているので見てみてはどうです」とのこと。早速、見てみると、様々な表現ではありますが、最初の不安が最後には別れがたい気持ちになり、感謝の言葉であふれていました。一緒に料理やお菓子を作ったこと、三線を教えてもらったこと、島草履や貝細工などの製作、シュノーケリングやカヤックなどのマリン体験、農業や釣りの体験など、各ご家庭で工夫していただいたことがよく分かりました。生徒は大事にもらったことを強く感じているようで、今度沖縄に行ったらまた会いに行くとも書いてありました。』

お店で食べる料理もおいしいですが、沖縄のご家庭でいただく料理には、皆さんをもてなすあたたかい思いが込められています。

みなさん、心を開いて相手の心に触れ心をかよわせてください。それが旅です。」

きっと良い旅ができたと思っています。

校長 遠藤 誠